2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名　　株式会社キムラ　　上場取引所　東
コード番号　　7461　　ＵＲＬ　https://www.kimuranet.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）木村　勇介
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長兼経営企画室長　（氏名）南　耕平　　ＴＥＬ　011-721-4311
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	20,246	4.9	931	△10.2	944	△13.0	496	△24.9
2026年３月期中間期	19,293	6.6	1,037	△3.3	1,086	△4.8	660	13.0

（注）包括利益 2027年３月期中間期　689百万円（△18.2%）2026年３月期中間期　841百万円（20.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	33.46	－
2026年３月期中間期	44.53	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	38,712	20,162	44.5	1,160.77
2026年３月期	36,831	19,692	45.7	1,135.88

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　17,217百万円　2026年３月期　16,848百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	14.00	14.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	14.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	4.9	1,300	21.8	1,285	14.0	643	△9.1	43.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）　、除外　－社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　②　①以外の会計方針の変更　　：無
　③　会計上の見積りの変更　　：無
　④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	15,180,000株	2026年３月期	15,180,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	347,365株	2026年３月期	347,365株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	14,832,635株	2026年３月期中間期	14,832,668株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済環境は、円安の進行や国内の緩やかな経済回復を背景に、内需を支える個人消費が改善傾向にあります。一方で、原材料価格の高騰や人手不足、エネルギー価格の不安定さなど国内外の不確実性が経営環境に依然として影響を及ぼしております。また、住宅価格の高止まりとともに金利上昇が住宅関連の消費マインドに影響を与えております。

このような環境下、当社グループは卸売事業における新商品の開発・販売強化、小売事業におけるサービス充実および店舗運営の効率化に注力し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高202億46百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益９億31百万円（同10.2%減）、経常利益９億44百万円（同13.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益４億96百万円（同24.9%減）となりました。売上高は増加したものの、不動産販売益の減少や人件費上昇に伴うコスト増の影響を受け、利益面では減益となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

売上高53億94百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益３億85百万円（同2.0%減）となりました。販売努力に加え、新設住宅着工の一時的な反動増などの追い風を受けて増収となりましたが、人件費や物流費の上昇によりコストが増加し、利益はやや減少いたしました。今後も厳しい経営環境が続くと予想されますが、オリジナル商品の拡充および適正価格での販売に努めてまいります。

(小売事業)

売上高135億86百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益５億17百万円（同49.4%増）となり、当社グループ全体の業績牽引役として好調に推移いたしました。2025年７月開業のジョイフルエーケー釧路店の寄与に加え、既存店における顧客満足度向上と粗利率改善に注力し、賃上げ等による販売費および減価償却費の増加を吸収しつつ、大幅な増収増益となりました。

(不動産事業)

売上高３億40百万円（前年同期比64.3%減）、営業利益２億22百万円（同52.8%減）となりました。賃貸資産の適切なメンテナンスおよび管理により収益基盤を維持するとともに、分譲マンション「ザ・札幌タワーズ」引き渡し完了が売上および利益に寄与しましたが、上半期における販売は昨年同期から半減いたしました。

(足場レンタル事業)

売上高３億86百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益24百万円（同31.8%減）となりました。中・高層建築向け次世代足場の新規受注は堅調に推移しましたが、費用増加の影響で営業利益は減少いたしました。

(サッシ・ガラス施工事業)

売上高５億38百万円（前年同期比19.1%減）、営業利益46百万円（同29.6%減）となりました。前年の好調の反動減収減益でありましたが、工事現場における設計・監理・施工の品質向上による受注拡大、業務効率化およびコスト管理の徹底により、事業回復に努めてまいります。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は387億12百万円となり、前連結会計年度末に比べて18億81百万円増加しております。これは主に、売上債権が10億32百万円、商品が７億51百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は185億49百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億11百万円増加しております。これは主に、買入債務が11億25百万円、未払法人税等が３億29百万円、その他の流動負債が３億52百万円それぞれ増加したことと、短期借入金が１億46百万円、長期借入金が３億83百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は201億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて４億69百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は44.5％（前連結会計年度末は45.7％）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ１億25百万円減少し、46億31百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果による資金の増加は10億62百万円（前年同期は10億68百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益９億56百万円、減価償却費７億66百万円及び棚卸資産の増加額７億35百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果による資金の減少は４億19百万円（前年同期は47億68百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出４億16百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果による資金の減少は７億68百万円（前年同期は49億54百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純減額１億50百万円、長期借入金の返済による支出３億80百万円、配当金の支払額２億７百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年５月11日付「2026年３月期　決算短信」において発表しております2027年３月期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,772,845	4,647,162
受取手形、売掛金及び契約資産	1,884,872	2,835,908
電子記録債権	339,317	420,573
商品	5,767,342	6,518,703
販売用不動産	508,997	485,328
仕掛販売用不動産	7,302	―
その他の棚卸資産	14,125	28,769
その他	628,511	923,009
貸倒引当金	△1,739	△3,409
流動資産合計	13,921,576	15,856,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,037,681	13,765,027
土地	2,998,980	2,998,980
その他（純額）	2,957,504	3,035,323
有形固定資産合計	19,994,165	19,799,331
無形固定資産		
その他	439,009	400,243
無形固定資産合計	439,009	400,243
投資その他の資産		
その他	2,481,430	2,660,039
貸倒引当金	△4,979	△3,359
投資その他の資産合計	2,476,450	2,656,679
固定資産合計	22,909,626	22,856,255
資産合計	36,831,202	38,712,303
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,627,848	2,551,726
電子記録債務	151,450	353,428
短期借入金	3,810,000	3,663,100
未払法人税等	147,642	477,483
賞与引当金	233,662	293,551
その他	944,001	1,296,209
流動負債合計	6,914,605	8,635,499
固定負債		
長期借入金	7,982,500	7,599,400
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	363,474	382,438
資産除去債務	867,617	874,146
その他	981,156	1,029,364
固定負債合計	10,223,758	9,914,359
負債合計	17,138,363	18,549,858

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	14,735,442	15,024,066
自己株式	△133,065	△133,065
株主資本合計	16,230,154	16,518,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541,284	621,717
土地再評価差額金	76,722	76,722
その他の包括利益累計額合計	618,006	698,439
非支配株主持分	2,844,677	2,945,226
純資産合計	19,692,838	20,162,444
負債純資産合計	36,831,202	38,712,303

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	19,293,955	20,246,216
売上原価	13,340,294	13,999,584
売上総利益	5,953,660	6,246,631
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,878,292	2,038,934
賞与引当金繰入額	283,741	302,065
退職給付費用	26,586	32,170
貸倒引当金繰入額	1,121	1,646
その他	2,726,504	2,940,670
販売費及び一般管理費合計	4,916,245	5,315,487
営業利益	1,037,415	931,144
営業外収益		
受取利息	586	861
受取配当金	17,841	21,821
仕入割引	31,874	26,337
その他	39,237	31,064
営業外収益合計	89,540	80,085
営業外費用		
支払利息	37,460	64,693
その他	3,385	1,722
営業外費用合計	40,846	66,416
経常利益	1,086,109	944,813
特別利益		
投資有価証券売却益	－	12,040
特別利益合計	－	12,040
特別損失		
固定資産除売却損	2,239	－
特別損失合計	2,239	－
税金等調整前中間純利益	1,083,869	956,853
法人税、住民税及び事業税	411,257	439,048
法人税等調整額	△74,985	△90,784
法人税等合計	336,271	348,263
中間純利益	747,597	608,589
非支配株主に帰属する中間純利益	87,104	112,309
親会社株主に帰属する中間純利益	660,492	496,280

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	747,597	608,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,248	80,432
その他の包括利益合計	94,248	80,432
中間包括利益	841,846	689,022
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	754,741	576,713
非支配株主に係る中間包括利益	87,104	112,309

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,083,869	956,853
減価償却費	590,038	766,822
賞与引当金の増減額（△は減少）	52,581	59,889
貸倒引当金の増減額（△は減少）	911	49
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	12,424	18,964
受取利息及び受取配当金	△18,428	△22,683
支払利息	37,460	64,693
固定資産除売却損益（△は益）	2,239	－
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△12,040
売上債権の増減額（△は増加）	△98,163	△1,035,463
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,374,399	△735,034
仕入債務の増減額（△は減少）	1,004,460	1,125,856
未払消費税等の増減額（△は減少）	△255,494	231,155
その他	470,720	△270,993
小計	1,508,220	1,148,070
利息及び配当金の受取額	18,420	22,670
利息の支払額	△38,430	△64,786
法人税等の支払額	△419,670	△43,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,068,540	1,062,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△166	△142
有形固定資産の取得による支出	△4,706,437	△416,706
無形固定資産の取得による支出	△72,070	△11,512
投資有価証券の取得による支出	△3,926	△5,805
投資有価証券の売却による収入	－	14,040
投資有価証券の償還による収入	20,000	－
貸付けによる支出	△5,700	－
貸付金の回収による収入	224	584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,768,075	△419,543
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△488,200	△150,000
長期借入れによる収入	6,200,000	－
長期借入金の返済による支出	△480,000	△380,000
自己株式の取得による支出	△22	－
配当金の支払額	△236,077	△207,390
非支配株主への配当金の支払額	△29,400	△11,760
リース債務の返済による支出	△11,931	△19,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,954,369	△768,879
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,254,834	△125,839
現金及び現金同等物の期首残高	3,744,387	4,757,603
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,999,221	4,631,764

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル事業	サッシ・ガラス施工事業	合計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,199,213	12,082,240	733,368	391,660	665,421	19,071,904
その他の収益	－	－	222,050	－	－	222,050
外部顧客への売上高	5,199,213	12,082,240	955,419	391,660	665,421	19,293,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	238,877	684	18,540	970	1,255	260,326
計	5,438,091	12,082,924	973,959	392,630	666,676	19,554,282
セグメント利益又は損失（△）	392,853	346,683	471,732	35,283	66,514	1,313,067

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,313,067
セグメント間取引消去	△2,828
全社費用（注）	△272,824
中間連結損益計算書の営業利益	1,037,415

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル事業	サッシ・ガラス施工事業	合計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,394,491	13,586,731	76,237	386,118	538,056	19,981,634
その他の収益	－	－	264,581	－	－	264,581
外部顧客への売上高	5,394,491	13,586,731	340,819	386,118	538,056	20,246,216
セグメント間の内部売上高又は振替高	271,086	793	18,540	1,075	1,082	292,576
計	5,665,577	13,587,525	359,359	387,193	539,138	20,538,792
セグメント利益又は損失（△）	385,103	517,993	222,607	24,054	46,837	1,196,597

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,196,597
セグメント間取引消去	△3,577
全社費用（注）	△261,875
中間連結損益計算書の営業利益	931,144

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。